

2014年4月24日(木)

ちよだプラットフォームスクウェア 502 会議室

- ◆ 委員長：中澤信夫 副委員長：金子純代（議長） 事務：熊谷一樹 加藤文弥
書記：中山遼平
- ◆ 出席者（順不同）：小屋忠史 上松慮生 石黒建太郎 畠山智巳
- ◆ 開会 19:05

- ◆ キールボートパーク構想
 - ・ リビエラさんからキールボートパーク構想の再提案の打診があり、提案書を作成中。また昨年日本財団に提出した構想案を精査更新することで、2014年版としたい。（中澤）
 - ・ モデル事業の詳細、予算を含めると具体的にイメージしやすいのではないかと。（久保田）
 - ・ 既存のハーバー、ヨットクラブとの違いが重要。例えば、ジュニアからユース、オリンピック、マッチレースなど包括的な育成を行っているハーバー、クラブはあまりない。（石黒）
 - ・ 都心を離れた工業地帯では、周辺企業がスポンサーにつくケースが多い。チャーターボートが常備されれば、オーナーやクルーでなくともハーバーに向かう雰囲気ができるのではないかと。（小屋）
 - ・ 既存のハーバーは閉鎖的な面があり、一般人、地元の人には敷居が高い。（金子）
 - ・ サッカーJリーグの例など、地域密着型のハーバーとできないか。例えば、平日はジュニアの練習に開放することで、家族や商店街の応援を得られるのではないかと。（久保田）
 - ・ 先週葉山で開催された大使館対抗レースはチャーターボートを利用した新しい取り組みであり、セーリングのイメージ向上にも繋がるのではないかと。（久保田）
 - ・ キールボートパークの運営ファンドを募集するなど、新しい会計スキームを構築したい。（中澤）

- ◆ JSAF ホームページ（石黒）
 - ・ 今年中に JSAF のホームページがリニューアルされる。
 - ・ レース情報を分かりやすくし、開催地の Google マップ表示機能などもある。
 - ・ セーラー個人のマイページである J-Sailors では、レース日程の管理や情報発信が可能。
 - ・ 会員増強にも繋げたく、コンテンツに関してアイデアがあれば連絡ください。
 - ・ ホームページ上での JSAF 会員登録やレースエントリーなどはできないか。（久保田）
 - ・ クルーバンク機能を設ければ、若い意欲あるセーラーは利用するのではないかと。（加藤）
 - ・ 上記の案は検討しているが、個人情報の取り扱いが難しい。（石黒）
 - ・ マイページからフェイスブックなど外部 SNS にリンクするのはどうか。（上松）
 - ・ チームや大会、ヨットクラブなどのホームページの作成管理を請け負ってはどうか。（中澤）

- ・ バナー広告を JSAF の収入とできないか。各社スライド方式であれば露骨にならない。（中澤）
- ・ スポンサー企業の広告ページを設ける予定だが、JSAF は公益財団法人のため広告収入にそれほど意欲的ではないようだ。（石黒）

◆ 大学&U23 マッチ

- ・ 第3回大会は多くのセーラー、ボランティアの協力で成功裡に終了した。但し、アンパイアボートとレース艇の衝突事故があり、幸い大きな怪我人は出なかったものの、大会経費から修理費用を一部捻出した。
- ・ 大会報告書の作成を加藤さんが担当する。
- ・ 来年の大会に関して、運営体制を早期に周知し、また報告書を基に PR を行い、スポンサー獲得に繋げたい。（中澤）

◆ その他報告事項

- ・ 東京オリンピックのセーリング競技準備副委員長の桑原さんと面会した。オリンピック運営に関して、若手セーラーや海外のレースをよく知る人から意見を聞く場を設けたい。（中澤）
- ・ オリンピック開催に向けて英会話のできる若手人材を育成していく必要がある。（中澤）
- ・ 昨年の銚子レースはエントリー4艇のため中止となった。次回大会が2015年に開催検討中であり、エントリー数の増強に協力をお願いしたい。（小屋）
- ・ レース概要を早期に固め、周知には新しいJSAFホームページを利用してはどうか。（中澤）
- ・ 今後開催予定の海外キールボートレガッタに関して調べ、情報を委員会ホームページに掲載する。（連絡担当役・中山）
- ・ 今年度の委員会メンバー登録の更新。（連絡担当役・熊谷）
- ・ 昨年度の事業報告草案の確認。
- ・ 国際的スポーツ人材養成プログラムの公募は締切日が近く見送ったが、来年以降の応募を検討する。

◆ 閉会 20:55

- ◆ 次回委員会の開催日：未定。決定次第、web公開及びメール配信します。